

# 牡丹そばの長期冷蔵保存とその効果について

「そば生産組合牡丹(会長木村好博)」では2015年産のそばの種から当会メンバーの紹介で弘前市神田にある「東弘電機株式会社」様のご協力を得て11月に選抜した100kgの「牡丹そば」を紙製の袋に20kgずつに分けて封入し、冷蔵保存して頂いています。

このそばの種を長期保存する事にした目的は毎年9月に開催される黒石市の「こみせ祭り」で手打ちそばを提供するためです。この冷蔵保存技術によって、その特徴である甘さ、香りを長持ちさせて、多くのご来場の方々に美味しい「牡丹そば」を味わっていただける様にと考えて行っています。

過日、地元の新聞「東奥日報」にその功績を紹介する記事が掲載されていまして、以下にご紹介します。

三
幸辰
2020年(令和2年)9月17日 木曜日 (18)

**弘前**

**東弘電機・須藤会長  
研究回覧本を出版**

弘前市の総合建設業「東弘電機」の須藤博代表取締役会長(86)が、自身の研究人生を振り返る本「自然界のエネルギーの開発を求めて」を出版した。リンゴ貯蔵クーラーの改良などに励んだ日々を当時の論文を交えて紹介。20年ほど前から温めていた出版の構想が形になり、「昔の研究仲間から本の反響があるのがうれ

## リンゴ貯蔵技術 追究の日々



中弘南黒  
つがる  
西

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 弘前支社  | ☎0172④5151<br>FAX⑤8035  |
| 黒石支局  | ☎0172⑤2351<br>FAX⑤8162  |
| 平川通信部 | ☎0172④8029<br>FAX④8008  |
| つがる支局 | ☎0173④3130<br>FAX④5080  |
| 鱒ヶ沢支局 | ☎0173⑦2058<br>FAX⑦26647 |



出版した本を手にする須藤さん

しい」と語る。  
須藤さんは武蔵工業大学を卒業後、同社に入社。1蔵クーラーの自動除霜装置

962年から2004年まで社長を務めた。リンゴ貯蔵クーラーの開発を求め

を開発するなどの功績が認められ、84年度に科学技術庁長官賞を受賞。さらにリンゴ冷蔵庫に貯蔵していた日本酒の味がまろやかになっていることに気づき、古酒の熟成・販売にも乗り出した。

本ではこうした経験を振り返り、恩師や仲間との出会いも書き記した。須藤さんは「自然界にエネルギーを求めるのが私の長年のテーマ。研究・開発は非常に苦勞したが、こうして一冊の本にまとめられて良かった」と話している。

本に関する問い合わせは同社(電話0172④3865)へ。(古川靖隆)

を

実際、私たちメンバーの貯蔵保存された「牡丹そば」は11月の保存開始とほぼ遜色ない粉の状態、手打ちをしてもとてもよく繋がりますし、味香りもほとんど劣化していない状態で、むしろ熟成しているのではないかと思われるくらいです。

始めた当初は「カビが生えるのではないか」と心配しましたが、おおよそ5年間継続して保管して頂いてきましたが、全く問題ありませんでした。